

# 令和2年度 事業報告

## 1 概 要

令和2年度のシルバー人材センターを取り巻く環境は、会員の高齢化や企業における雇用の延伸、また、いまだ収束の見えないコロナ禍等にあつて、会員への就業の制約のほか事業運営にも多くの影響を及ぼしているところです。

このような中、当センターの契約金額は、4億1,123万5千円となり前年度比0.1%の増、金額にして38万3千円の増加となりました。

請負・委任業務にあつては夏場の実績は発注者の諸事情から継続的な分野での依頼が減少傾向となっていたものの、今冬の例年にも増しての降雪となり、除雪就業等への会員の活躍もあり、本年度は前年度を上回る実績となりました。

しかしながら、年々堅調な実績を維持していた派遣就業が発注者からの事業規模縮小や就業者の縮減等によって就業数及び金額が減少となりました。

会員拡大及び就業拡大を目指しての普及啓発活動にあつては、秋季に各戸を対象とした入会促進のためのチラシ配布、各地域内における美化ボランティア活動のほか、地域参加型雪囲い講習会や児童クラブ補助員養成研修会、安全運転及び生活支援等各種就業に向けた講習会を実施しました。

会員数においては、1月から3月に入会した会員の会費を無料としたことや会員拡大促進のための「勧誘促進キャンペーン」等を実施し、1,144人と前年度に比べ38人の増加となりました。

事故件数は、傷害、賠償事故あわせて14件（前年度9件）発生し増加となっています。毎年発生する事故について、具体的な安全策を講じ今後も事故撲滅に全力で取り組みます。

事業全般においては、諸般の大変に厳しい状況の中にあつて、会員の皆様の活躍が随所に見られ会員数の増加や契約金額の推移を見ますと、生涯現役社会の担い手として地域の皆様から大きな期待が寄せられていることが大きな自信となっています。シルバー人材センターの意義役割を会員一人ひとりが自覚し、知識と経験を活かしながら「自主、自立」、「共働、共助」の基本理念のもと各活動に取り組んでいただきました。

以下に令和2年度の主な実施事業について報告いたします。

### (1) 会員数及び入会・退会の状況

令和2年度当初の会員数は、1,106人であり、年度中の入会者は、161人、退会者が123人で年度末の会員数は、1,144人となりました。

## (2) 事業実績

- ① 公共からは、前年度に引き続き地元の市、町をはじめ国や県から多くの発注をいただいております。ことに学校関係ではコロナ禍のなかで感染防止のための消毒作業で児童・生徒の安全ため就業を行いました。一部、自治体の事業見直しの影響を受け事業実績は、受託件数 1,080 件で 1.8%の減、契約金額では 1 億 1,081 万 5 千円で 4.7%の増となっています。
- ② 民間事業所にあつては、多くの職種の就業提供をいただいている派遣にかかる就業がコロナ禍にあつて実績が減少し受託件数、契約金額とも減少となり、請負・委任業務にあつても同様な事情が影響し年間を通しての就業や戸外作業の発注依頼が減少となりました。事業実績は、受託件数 2,499 件、契約金額では 2 億 3,514 万 1 千円で前年度比はそれぞれ 7.1%、7.5%とそれぞれ減少となっています。
- ③ 一般家庭からの発注件数は、全体の 56%を占めている中、通常の夏場の作業のほか、今冬のいわゆる豪雪によって除雪作業の就業が増え、受託件数は 4,546 件で 18.0%、契約金額は 6,527 万 9 千円で 28.8%と何れも前年度実績を大きく上回りました。

## (3) 就業状況

契約実績の総額は、前年度比で 0.1%、金額で 38 万 3 千円の増加で、4 億 1,123 万 5 千円となりました。

また、就業実績の総額は前年度比で 0.2%の 84 万 8 千円、就業延人員は、0.2%の 188 人とそれぞれ増加となり、3 億 6,409 万 4 千円、90,390 人となりました。就業実人員は、964 人で昨年度と比べ 21 人、率にしますと 2.2%の増加となりました。

区 分	2年度・①	元年度・②	増減・①÷②
実績の総額	411,235 千円	410,852 千円	0.1%
就業実績	364,094 千円	363,246 千円	0.2%
就業延べ人員	90,390 人	90,202 人	0.2%
就業実人員	964 人	943 人	2.2%

## (4) 就業機会の拡大と普及啓発活動

### ① 就業機会の拡大

市内の学童等へのコロナ禍の感染防止対策の支援として校舎内の消毒作業の就業に取り組み、子育て支援に係る就業にあつては、保育関係や学童関係の所管機関にその旨の要請を行いました。

## ② 普及啓発活動

普及啓発促進月間の10月には全地域の会員が参加しシルバーのPRを兼ねて実施しました。清掃ボランティア等のほか戸別訪問を行って会員拡大や就業拡大を併せて広く行いました。

また、新たな会員入会の促進を兼ねた初心者向けの雪囲い講習を実施し、未入会者を含む20人弱の皆さんが参加しました。

## ③ 広報誌の作成

十日町市、津南町の全世帯の皆様に対センター広報誌「シルバーだより」を年2回発行し、高齢者の活躍や事業実績等を広く広報しました。

## (5) 安全就業の推進強化

事故発生件数は14件（傷害5件、賠償9件）となり、前年度の9件から増加となりました。

なかでも、賠償事故は前年度3件から9件と大きく増加しました。これは、作業への「過信」や就業の慣れから来る「気の緩み」等が事故となって現れたものであると考えます。

例年、7月に安全第一を主眼に実施していましたが「安全大会」は、コロナ禍での感染拡大予防の観点から中止としました。

このことから、各種安全講習会や安全啓発活動を推進し安全パトロール等には一層の力を入れていたところですが、結果として特に冬期間の事故が集中的に発生しました。事故撲滅に近道なしを念頭に「注意喚起の徹底」をさらに徹底してゆく必要があると実感した年度となりました。

## (6) 健全な財政運営と関係機関との連携

当センターは平成27年度から令和元年度の5年間の事業実績にあつては4事業年度においては赤字となっており、厳しい経営状況となっていました。

このことから平成13年度以降7%の手数料を令和3年度に10%とすることを先の理事会で承認いただきました。今後にあつても運営の基本となる財源として更なる適正執行に努めてゆきます。

また、例年、事業運営に大きくかかわっています「補助金の確実な確保」のため、十日町市長並びに津南町長へ当センターの運営近況を申し上げ、確実な助成を要請しました。